

令和5年度 地域活性化システム論

農学と 地域活性化

10.21(土)～12.16(土) 全3回



岡山大学
OKAYAMA UNIVERSITY

世界への扉を開く

受講料
無料

(事前にお申込みください)

【対象者】岡山大学学生・卒業生・高校生・地域活性化に関心のある企業・自治体・NPO 団体・一般市民の方等

第1回講義

第22回岡山大学農学部公開シンポジウム

テーマ：「多様化する清酒製造企業の事業展開
—原料調達から販売まで—」

日時：令和5年10月21日(土) 13:00-17:00

会場：岡山大学農学部3号館4階 多目的室

講師(パネリスト)：

関谷 健氏(関谷醸造(株)代表取締役)

渡辺 秀造氏(白菊酒造(株)代表取締役社長)

山田 翼氏(菊正宗酒造(株)製品部長兼
品質保証部長)

西川 邦夫氏(茨城大学農学部准教授)

コーディネーター：大仲 克俊氏

(岡山大学学術研究院環境生命自然科学学域(農)准教授)

主催：岡山大学農学部

後援：岡山県/中国四国農政局/

岡山県農業協同組合中央会/

NPO 法人中国四国農林水産・食品先進技術研究会/

岡山県酒造組合/岡山県小売酒販組合連合会/

ダイバーシティ農業による地域イノベーション

共創拠点(岡山大学拠点)

概要：国内の少子高齢化や酒類消費の多様化により、清酒消費量は減少し続けている。しかしながら、清酒は海外における日本食の普及から輸出量は数量・価格ともに増加し続けている。

また、国内の消費も純米酒・吟醸酒等の高品質の清酒への需要は根強く、清酒製造事業者は農業参入も含めた独自の原料調達の取組みから清酒事業を通じた独自サービスの提供、輸出による市場開拓等、事業展開の多様化を進めている。

そこで、本シンポジウムでは、独自の原料調達や輸出等に取り組む清酒製造事業者の方を講師としてお招きし、それぞれの経営の取組みや将来の事業展開について紹介していただく。

第2回講義

テーマ：「循環型酪農に貢献するジャージー牛」

日時：令和5年11月11日(土) 13:00-17:00

会場：岡山大学農学部3号館4階 多目的室

講師：行森 美枝氏(岡山県農林水産総合センター
畜産研究所 特別企画専門員)

植野 光雄氏(中国生乳販売農業協同組合
連合会代表理事常務)

菱川 雅弘氏((公財)中国四国酪農大学校長)

中村 貢易氏(蒜山酪農農業協同組合生産課長)

コーディネーター：森田 英利氏

(岡山大学学術研究院環境生命自然科学学域(農)教授)

概要：蒜山の酪農は昔から循環型酪農で発展しており、地域での環境に優しい持続可能な酪農のあり方について蒜山地域のジャージー牛による酪農を事例に議論する。

第3回講義

テーマ：「果樹産地の多面的支援と担い手増加
が生み出す産地と地域の相互作用」

日時：令和5年12月16日(土) 13:00-17:00

会場：岡山大学農学部3号館4階 多目的室

講師：平松 竜一氏(岡山県農林水産総合センター
普及連携部普及推進課長)

白神 誠氏(岡山ダイハツ販売(株)SDGs・
地域とつながる推進プロジェクト)

戸田 洋美氏(赤磐市地域おこし協力隊)

増田 一郎氏((株)ロックフローズン代表取締役)

パネラー：総社もも生産組合(予定)

コーディネーター：福田 文夫氏

(岡山大学学術研究院環境生命自然科学学域(農)教授)

概要：農業を支援する様々な立場について理解し、農業を生かすことが地域の活性化にどのように関わるか議論する。

お問い合わせ
お申込み先

岡山大学農学部総務担当 〒700-8530 岡山市北区津島中1-1-1

TEL: 086-251-8282 / FAX: 086-251-8388 / E-mail: QEE8273@adm.okayama-u.ac.jp

URL: <https://www.okayama-u.ac.jp/user/agr/>

*準備の都合上、事前にお申込みください(氏名・所属・電話番号・eメールアドレス)。